

地域発 元気づくり支援金 諏訪地域 優良事業一覧表（平成29年度実施事業）

事業区分	事業名	実施主体	事業の概要	事業費（千円）		選定のポイント
					うち 支援金額	
教育、文化の振興	小泉山体験の森整備事業	小泉山体験の森創造委員会	住民の活動の場である小泉山の看板、登山道が老朽化していることから、住民の協働により看板などを整備し、更なる観光客や住民の活用促進に繋げる。作業を通し住民が小泉山が地域の財産であることを再認識することで、地域コミュニティの強化を図る。	1,698	1,132	地域のシンボルである小泉山を地域住民と協働で整備し、登山やオオムラサキの保護活動など、公民館や学校の行事に活用できる場を作ることを通じて、地域に広がる形での世代間交流の促進、環境整備が期待される。
教育、文化の振興	山浦民謡ナンバ踊り普及継承事業	山浦民謡踊り保存連盟	縄文時代から生活文化の中で生まれ育まれてきたナンバ踊りが、時代の流れの中で消え去ろうとしていることから、踊りの教室や盆踊りを通し、幅広い年代に普及・継承活動を行う。	888	657	ナンバ踊りに興味を持った住民を巻き込み、三味線・唄・踊りの後継者として育成するとともに、イベントを通じて、新たに一般の住民や観光客が踊りの体験ができる機会を創出することにより、交流促進及び伝統文化の普及継承が期待される。
安全・安心な地域づくり	山下町地区多世代交流実践事業	株式会社和が家	老人福祉施設の敷地内に子どもの居場所を作ることにより、高齢者と子どもの世代間交流を促進し、地域住民間で顔が見える、安心安全な地域づくりに繋げていく。	3,934	2,939	地域の子どもたちの居場所を高齢者介護施設内に置くとともに、ワークショップを通じて信州こどもカフェとして運用することにより、高齢者と子ども達との多世代交流の促進が期待される。
環境保全、景観形成	田辺堰（新川）周辺整備	田辺堰（新川）改修委員会	1803年に高島藩により整備された田辺堰を住民、観光客が親しめる歴史散歩道として再生させるため、住民が協働し、自然に配慮した河川改修、遊歩道整備を行う。また、歴史的な経緯・価値を新たに移住してきた住民等に伝承することで、地域への愛着を深め、定住を促進する。	2,913	2,172	自然に配慮した護岸整備を行うとともに、住民自らが地域資源である田辺堰を共有財産として維持管理する機運を高めることにより、住民及び観光客が積極的に利用する、親しみのある空間形成が期待される。
特色ある観光地づくり	児宝安産縁結び・しもすわ開運プロジェクト事業	下諏訪温泉旅館組合	下諏訪の特性である温泉文化の良さを観光客だけでなく住民にも伝えるため、史跡・温泉等に、温泉銭湯と「くみ湯」の文化を加えたまち歩きを提案するためのリーフレットや看板、ホームページを作成する。また、住民と観光客が交流するイベントを開催し、どちらにとっても滞在して楽しいまちづくりを試みる。	1,114	859	地元の協働体制を構築し、住民等を対象とした汲み湯の体験等を通じて、下諏訪温泉の歴史・文化について理解を深めることにより、郷土愛を醸成するとともに、観光客だけでなく住民も周遊する魅力あるまちづくりが期待される。
環境保全、景観形成	若宮区 区民交流の場再生事業	富士見町若宮区	お年寄りのふれあいの場所として活用してきた建物（風月庵）の茅葺き屋根等が老朽化していることから、区民全戸が参加する改修作業を実施し、結束力のある地域づくりを推進するとともに、世代間の一層の交流を図る。	1,052	701	多くの住民が地域のふれあいの場である『風月庵』を協働で再生することにより、郷土愛の醸成及び地域内の多世代交流の促進が期待される。
その他地域の元気を生み出す地域づくり	井戸尻を元気に！地域を元気に！	井戸尻応援団	住民が支えてきた歴史や諏訪に根差す「縄文文化」に対する住民の理解度を高め、主体的な情報発信・普及活動を促すため、地域と「縄文文化」を楽しむワークショップやイベントを開催する。	573	459	地域住民がレンコン掘りや土器づくり等に携わることにより、縄文文化を理解する機会を創出し、井戸尻地域に対する愛着を醸成することで、住民自らが井戸尻のファンとして情報発信や普及活動を行うことが期待される。
環境保全、景観形成	木障をなくして美しい里山をつくる仙人の事業	原村仙人の会	美しい里山景観の保全や自然資源の有効利用を促進するため、住民協働により、放置された里山の木障（こさ）の伐採、間伐を行う。伐採木を薪ストーブ燃料に加工、頒布するとともに、伐採・薪づくりなどの講座を開催することにより、担い手の確保と地域住民のコミュニティ強化を促進する。	3,409	2,610	新たな住民の活動参加及び活動の認知度向上を通じて、住民の要望に基づき木障の除去活動するとともに、次世代を担う子どもたちの景観意識を啓発することにより、美しい村づくりの推進が期待される。